

緊急アピール1

インドネシア・スマトラ沖地震 被災地に顔と顔の見える支援を！！

2009年9月30日にインドネシア・スマトラ沖で発生した地震により、2009年10月6日現在、パダン・パリアマン地域で12,315戸の家屋が倒壊し、同地域において54校の学校も大きな損害を受けました。また、病院などを含む多くの建物や人々の礼拝のための建物も崩壊しました。大きな被害を受けたパダン・パリアマン地域は都市部だけではなく山間部も含む広範囲な地域を含み、山間部の被災地に入ることすら難しい状況です。多くの道路も崩壊し、送電線が切れ、地滑りも発生しているため被災地へのアクセスの確保が非常に困難になっています。唯一のアクセス手段は「徒歩」という場合も少なくありません。我われCWSが初期段階に行った被災地での調査では、パダン・パリアマン地域では208名が死亡し、332名の重傷者がいます。今後、瓦礫の撤去が進むにつれて、これらの数はさらに増え続けると思われます。

□ 余震を恐れる被災者たち

被災者たちは、たとえば避難キャンプといったような一箇所に集まっていません。むしろ、被災した家屋のすぐそばから離れない傾向にあります。また、幸い家屋が倒壊していない人々も余震を恐れて屋外で生活をしています。今すぐに屋根がついた雨露のしのげる緊急避難所が必要です。家を失った被災者そして地震によるトラウマで家の中に入ることを怖がる被災者が大勢いるのです。

□ 被災地の緊急ニーズ

もうひとつの緊急を要する問題は、充分で安全な水の確保と下水設備です。井戸は汚泥で使えなくなり、水道管は破裂しており、被災者にトイレも足りていません。そのため、衛生状態は急激に悪化しています。基礎的な保健・衛生知識とともに緊急避難所および仮設住宅、そして水のアクセス、下水設備が緊急に必要です。特に5歳以下の乳幼児たちや身体の免疫力が低下した人々の健康が脅威にさらされています。

□ CWS（チャーチワールドサービス）緊急支援アプローチ

10月3日、CWSから緊急支援チームがトラック2台分の緊急支援物資とともにパダン・パリアマン地域に到着しました。さらに、被災地を移動するためにオートバイ1台と四輪駆動車、さらにトラック2台分の支援物資を追加で被災地に送りました。10月4日、CWSは216枚の防水テント、350枚のマットと805枚の毛布を被災地の7つの町や村落（ピルバン（Pilubang）村、スンガイ・リマウ（Sungai Limau）地域、パダン・パリアマン（PadangPariaman）地域など）で配布しました。また、その後、追加支援として447枚のビニールテント、1,000枚の毛布、200枚の簡易住居型テント、58ドラム缶分の支援物資、1,357セットのベビー・キットを送っています。

連日の緊急支援活動を支えるために、パダン・パリアマン地域に派遣する職員を交替で増員し、安全な水の確保と衛生改善の支援をスンガイ・ラマウ地域で開始しています。CWS調査チームはトイレ建設と水供給システムのための地図づ

くりから着手しています。また、ピルバン村においては、5歳以下の子ども達への栄養補給とカウンセリングも始まりました。心理学の専門家を現地に派遣してボランティア・スタッフへのトレーニングにも取り組んでいます。

CWSはパダン・パリアマン地域の保健省との折衝および協働関係を深め、支援物資のための倉庫も新たに確保しました。その他、政府や国連組織、あるいは国際NGOなど諸機関と連絡調整を続けながら効果的な支援活動に取り組んでいます。

□ 被災地のさらなる支援のために

CWSは、仮設住宅、衛生向上、水供給システムづくり、ゴミ処理、カウンセリングを通じて被災地の緊急および復興段階を見据えた支援に取り組めます。第一段階での取り組みでは、約6,000人の被災者が避難し、暮らすことができる1,500戸の仮設住宅の建設を計画しています。

(2009.10.06)

ご寄付の方法：

【郵便局（ゆうちょ銀行）から】

郵便振替口座番号：00930-1-119782

加入者名：特定非営利活動法人アジアボランティアセンター

*通信欄に「インドネシア復興支援」とご明記ください

*領収証ご希望の場合はその旨もご明記ください

【銀行口座に】

銀行名：三菱東京UFJ銀行阪急梅田北支店

口座番号：5371964

名義：特定非営利活動法人アジアボランティアセンター

*銀行振込の場合「09IN」とご指定ください

*領収証ご希望の場合は別途AVC宛TEL(06-6376-3545)で

振込内容(振込日、お名前、ご住所、TEL)ご連絡ください